

## 第6学年 音楽科学習指導案

- 1 題材 曲想を味わいながら聴いたり豊かに表現したりしよう  
 教材曲 管弦楽組曲『惑星』から「木星」 ホルスト 作曲  
 合奏用編曲教材「木星」 長谷部匡俊 編曲

### 2 学習指導の考え方

**このような子どもたちだから**

本学年の子どもたちは、曲想を感じ取りながら歌い方の工夫をして歌ったり、リコーダー奏に取り組んだりしている。歌詞から歌い方の工夫を考えることはできているが、楽曲を形づくっている要素のかかわり合いを感じ取り、それを生かした歌い方はまだ十分ではない。また、器楽にも意欲的に取り組んでいるが、楽曲を形づくっている要素を感じ取ったり、曲想を生かした表現のために速度や音色・音量のバランスなどの要素を工夫したりして豊かに表現することはまだ十分ではない。

このような教材で	このような指導・支援を行いながら
<p>○ 鑑賞曲「木星」は、オーケストラの響きが大変豊かに表された楽曲である。そのため、子どもにとっても、曲全体が醸し出す美しく堂々とした雰囲気を感じ取りやすく、イメージを膨らませ宇宙の壮大な情景を想像しながら音の重なりや曲想の変化を味わうことができる楽曲である。また、中間部の民謡風な主題は、合奏教材としても教科書に掲載されており生活の場面でも使われているなど、旋律を口ずさみながら聴くと、音楽を形づくっている要素について理解を深めることもしやすい。</p> <p>○ 合奏用教材曲「木星」には、同じ旋律が繰り返し出てくることから旋律の特徴を生かした曲想表現の工夫がしやすい。</p> <p>これらのことから、鑑賞活動を基盤に据えて、音楽を特徴付けている要素を感じ取り、その経験をもとに、旋律の特徴を生かした歌唱活動や、器楽活動での表現活動に取り組み、曲想を味わいながら豊かに表現する学習に適している。</p>	<p>○ <b>つかむ段階</b> 鑑賞曲「木星」を聴いて楽曲の全体の雰囲気や曲想をとらえ、自分たちのテーマや表現したいイメージをもつことができるように、情景画を提示して「木星」のイメージを広げるようにする。そして、感じ取ったことをもとに表現への意欲を高めるために、場面ごとに短い題を付けることによって、どうしてそのような感じがするのか、これまで習得してきた知識・技能を活用し、音楽を特徴付けている要素とのかかわりを聴き取らせるようにする。</p> <p>○ <b>深める段階</b> つかむ段階で話し合ってきた曲想を表すために、“何を” “どのように” 工夫するのか明らかにさせながら器楽活動を行っていく。</p> <p>○ <b>味わう段階</b> 表現の高まりを味わうために互いの表現の交流をし、自分考えや活動がどのように変化したかを見直す。</p>

**このような目標を設定して学習指導を展開します**

○ 旋律のくりかえしや曲想の変化を感じ取りながら、オーケストラの豊かな響きを味わって聴いたり、様々な楽器の音色を生かし、その組み合わせによる響きを味わって合奏したりすることができる。

### 3 学習指導計画（全6時間）

題材	教材曲	つかむ段階	深める段階	味わう段階
		第1次(1)	第2次(4)	第3次(1)
曲想を味わいながら聴いたり、豊かに表現したりしよう	鑑賞曲「木星」			
	合奏曲「木星」			

4 (1) 評価と評価計画 (題材の展開と題材の評価規準→単位時間ごとの学習計画における評価規準)

		ア 音楽への関心・意欲・態度	イ 音楽的な感受や表現の工夫	ウ 表現の技能	エ 鑑賞の能力	
		題材の評価規準	曲想を感じ取り想像豊かに聴いたり、曲想に合った表現の仕方を工夫したりしようとしている。	旋律の動きや音の重なりから曲想を感じ取り、感じ取ったことを生かした演奏の工夫をしている。	曲想や旋律の特徴を生かして、合唱したり、合奏したりすることができる。	主な旋律の変化、楽曲全体の構成、音楽を特徴付けている要素と曲想とのかかわりに気を付けて聴くとともに曲想を全体的に味わって聴いている
本題材で取り上げる活動と評価のかかわり		歌唱				
		器楽	○	○	○	
		音楽づくり				
		鑑賞	○	○	○	
学習過程	主な学習活動と内容	単位時間ごとの学習における具体的な評価規準				
第1次  つかむ段階 ① 本時6の3	ねらい： 曲想を味わって聴き、旋律の特徴をとらえて音楽を味わう楽しさを感じ取るとともに、表現主題をつかむことができる。					
	○ 鑑賞曲「木星」のオーケストラ演奏を聴き、曲想を感じ取る。 ・ 繰り返し出てくるふしや曲想の変化などの特徴を感じ取って聴くこと  習得	① 楽器の音色や特徴を聴いて自らの感じ方や思いをもとうとしている。  【鑑賞】 (発言、ノート)			① 曲想の変化や音楽全体の流れを感じ取るとともに、オーケストラの音楽に親しみ音色の異なった様々な楽器がかかわり合っ生まれる響きの美しさを楽しんで聴いている。  【鑑賞】 (発言、ノート)	
第2次  深める段階 ①	ねらい： 旋律の特徴に気付き、音の出し方や楽器の組み合わせ方を工夫して合奏することができるようにする。					
	○ 教科書①～③の各パートの旋律を練習する。 ・ 範奏を聴き、楽譜を見て主旋律や低声部を演奏すること  習得	② 器楽表現を聴いて同じように演奏したいという思いや願いをもち、それを実現できるように繰り返し演奏に取り組んでいる。  【器楽】 (観察)				

②	<p>○ グループに分かれて、表現したいイメージから、楽器を選び、パート分けをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 楽器の特徴を生かして旋律楽器を演奏すること</li> </ul> <p style="text-align: right;">習得</p>	③ 範奏を聴いて旋律楽器や打楽器に興味・関心をもち、豊かな表現をめざして楽器を選んで演奏することを楽しんでいる。[器楽] (観察, 演奏)			
③	<p>○ 自分の担当するパートを練習する。</p> <p>○ グループで合わせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 楽器の特徴を生かして旋律楽器を演奏すること</li> </ul> <p style="text-align: right;">活用</p>			① 様々な旋律楽器の適切な扱い方、演奏の仕方を身に付け、美しく響き合う音を探りながら音色・和音などの要素を鋭く感じ取って演奏している。[器楽] (観察, 演奏)	
④ 本時	<p>○ グループの表現したいイメージに合うよう、互いの響きや音色、音量のバランスなどについて表現を工夫する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 曲想を生かした表現を工夫し、思いや意図をもって演奏すること</li> </ul> <p style="text-align: right;">活用</p>		① 快いと感じる拍の流れやフレーズ、強弱や速度を工夫したり美しく響き合う音を求めたりするなど曲想に合った演奏の仕方を工夫している。[器楽] (観察, 学習カード)		
第3次  味わう段階  ①	<p>ねらい：これまでの学習をもとに、曲想を生かした合奏や合唱を発表し合い、互いの音楽表現のよさを味わう。</p> <p>○ 曲の気分やイメージを生かして工夫した合奏や合唱を発表し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各声部の歌声や全体の響き、伴奏を聴いて歌うこと</li> </ul> <p style="text-align: right;">活用</p>		② 友達の表現を互いに聴いて、その演奏の仕方によるよさや美しさを感じ取るとともに、歌ったり楽器を演奏したりすることの楽しさやすばらしさを感じ取っている。[器楽] (対話, 学習カード)		

(2) 観点別評価の進め方

【音楽への関心・意欲・態度】

学習活動における具体的評価規準	具体的な評価方法とCと判断される場合の支援
<p>アー① 楽器の音色や特徴を聴いて自らの感じ方や思いをもとうとしている。</p> <p style="text-align: right;">【鑑賞】 (発言, ノート)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 評価方法           <p>「木星」を聴いている時の子どもたちの表情や身体反応しながら聴いているかという様子を観察していく。また、感じたことや聴き取ったことを発表時の様子や発言の内容、学習ノートで判断していく。</p> </li> <li>● Aと判断するキーワード           <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 集中した聴き方</li> <li><input type="checkbox"/> 拍の流れを身体反応しながら聴く。</li> <li><input type="checkbox"/> 曲全体を通しての曲想とその変化をとらえた発言</li> <li><input type="checkbox"/> 音楽的要素をとらえた発言やノートへの記述</li> </ul> <p>身体反応しながら聴くだけでなく、音楽的要素をとらえて曲想を感じ取った発言を積極的にしている子どもをAとしたい。</p> </li> <li>● Cと判断される子どもへの支援           <p>身体反応をするなど自分なりの音楽の感じ方や聴き方をしている子どもの様子を見せ、よさを伝える。また、「音楽の言葉」カードを提示しておき、自分の感じたことを選択させ、思いを言葉で表すことを助ける。「音楽のもと」「音楽の仕組み」カードを提示し、どんな要素に着目して聴くとよいか視点を与えていく。</p> </li> </ul>
<p>アー② 器楽表現を聴いて同じように演奏したいという思いや願いをもち、それを実現できるように繰り返し演奏に取り組んでいる。</p> <p style="text-align: right;">【器楽】 (観察)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 評価方法           <p>演奏表現している様子を観察し、その様子や発言から判断していく。</p> </li> <li>● Aと判断するキーワード           <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> こだわりをもった練習</li> <li><input type="checkbox"/> 集中した練習</li> </ul> <p>繰り返し練習する際に、最初から機械的に繰り返しているのではなく自分なりのこだわりや課題をもって部分的に集中して、練習をしている子どもなどをAの対象としたい。</p> </li> <li>● Cと判断される子どもへの支援           <p>個別に指導する。易しい目標を設定しながら少しずつクリアするごとに称賛し、励まし、意欲を喚起する。</p> </li> </ul>
<p>アー③ 範奏を聴いて旋律楽器や打楽器に興味・関心をもち、豊かな表現をめざして楽器を選んで演奏することを楽しんでいる。</p> <p style="text-align: right;">【器楽】 (観察, 演奏)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 評価方法           <p>「木星」のイメージに合う楽器をグループで話し合いながら決めていくが、その際に、子どもたちの中をまわりながら、一人一人の状態を観察していく。また、個人練習の際も子どもたちの状態をじっくりと観察したい。</p> </li> <li>● Aと判断するキーワード           <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 曲想にふさわしい楽器の選択などの音楽的発言</li> <li><input type="checkbox"/> 自分なりの工夫</li> <li><input type="checkbox"/> グループ活動でのリーダーシップ</li> </ul> <p>グループ活動のなかで、曲想を生かして合奏するために自分なりの工夫を加えて積極的に発言をしたり、学習プリントに意欲的な書き込みが見られたりする子どもをAとしていきたい。</p> </li> <li>● Cと判断される子どもへの支援           <p>本人が何気なくやっている演奏の中から工夫につながるものを見つけ出し価値付けしさらなる練習への意欲を高めていく。</p> </li> </ul>

【音楽的な感受や表現の工夫】

学習活動における具体的評価規準	具体的な評価方法とCと判断される場合の支援
<p>イー① 快いと感じる拍の流れやフレーズ、強弱や速度を工夫したり美しく響き合う音を求めたりするなど曲想に合った演奏の仕方を工夫している。</p> <p style="text-align: right;">[器楽] (観察, 学習カード)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 評価方法 「木星」の器楽表現をグループで工夫して演奏しているときの子どもたちの表情や様子を観察したり、活動中に子どもと対話したり、演奏を聴き取ったりする中から判断していく。また、学習プリントへの書き込みなども合わせて見ていく。</li> <li>● Aと判断するキーワード <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 速度や音色・音量のバランスを意識した器楽表現</li> <li><input type="checkbox"/> 音楽的なアイディアの提案</li> <li><input type="checkbox"/> こだわりをもった練習</li> </ul> <p>Aの対象となるのはメンバーが個々に工夫した演奏を、全体のバランス等を考えて調整する意見を出している子どもなど、グループ全体の表現をよりよくする役割ができていない子どもである。</p> </li> <li>● Cと判断される子どもへの支援 グループ活動のなかで、周りの友達の音に注意を向けるように話したり、一緒に演奏したりする。できるようになったことを認め、賞賛し、励ましていく。</li> </ul>
<p>イー② 友達の表現を互いに聴いて、その演奏の仕方の工夫によるよさや美しさを感じ取るとともに、歌ったり楽器を演奏したりすることの楽しさやすばらしさを感じ取っている。</p> <p style="text-align: right;">[鑑賞] (対話, 学習カード)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 評価方法 学習のまとめとしての発表会で、他のグループの演奏を聴いているときの態度、聞いた後の発言の様子、鑑賞後に記入する学習カードによって判断していく。</li> <li>● Aと判断するキーワード <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 題材のねらいに即した表現</li> <li><input type="checkbox"/> よい点の発見の豊富さ</li> </ul> <p>どんなことでもよい点を見つけて発言したり、カードへの記入ができたりしていることは、この評価規準をおおむね満足している姿である。Aとなるのは、そのようなことに加えて、本題材の目標である曲想を生かした演奏・歌唱という観点から、発言したり、カードへの記入ができたりしている子どもである。</p> </li> <li>● Cと判断される子どもへの支援 学習カードに何も書けないような子については、直接会話をし、その受け答えの中から、本人の気付いていることを明確にしてあげるようにする。また、よい面を発見できなかった子どもについては、自分たちの演奏や歌唱と比べながら、他のグループのよさを見付けるようにアドバイスしていく。</li> </ul>

## 【表現の技能】

学習活動における具体的評価規準	具体的な評価方法とCと判断される場合の支援
<p>ウー① 範奏を聴いて音程や、旋律の流れ、音色の響きなど豊かな表現を聴き取り、豊かな表現をめざして楽器を選び演奏している。</p> <p style="text-align: right;"><b>【器楽】</b> (観察, 演奏)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 評価方法           <p>「木星」のイメージに合う楽器をグループで話し合いながら決めていくが、その際に、子どもたちの中をまわりながら、一人一人の技能的な状態を観察していく。また、個人練習の際も子どもたちの状態をじっくりと観察したい。</p> </li> <li>● Aと判断するキーワード           <p><input type="checkbox"/> 適切な楽器の選択      <input type="checkbox"/> 美しい音色や適切な音量</p> <p>それぞれの旋律の特徴を表現するのにふさわしい楽器やマレット等を選択していたり、曲想に合った音色を求めたりしていくことはこの評価規準をおおむね満足している姿である。Aとなるのは、フレーズのまとまりや音色・音量のバランスを大切にしながら演奏している子どもである。</p> </li> <li>● Cと判断される子どもへの支援           <p>本人が何気なくやっている演奏の中から工夫につながるものを見つけ出し価値付けし、さらなる練習への意欲を高めていく。</p> </li> </ul>

## 【鑑賞の能力】

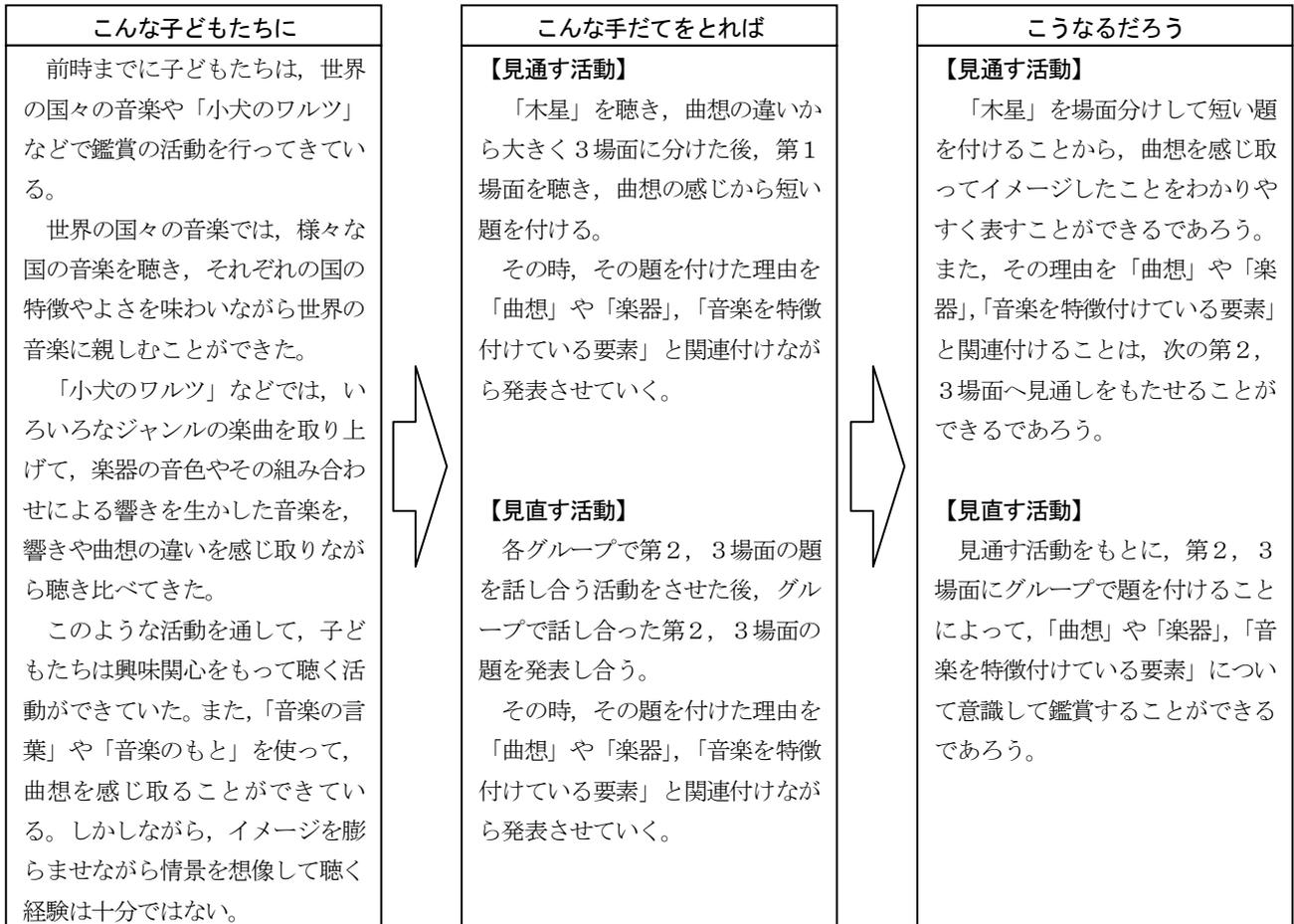
学習活動における具体的評価規準	具体的な評価方法とCと判断される場合の支援
<p>エー① 曲想の変化を感じ取るとともに、いろいろな楽器がかかり合って生まれる響きの美しさを楽しんでいる。</p> <p style="text-align: right;"><b>【鑑賞】</b> (発言, ノート)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 評価方法           <p>鑑賞後に子どもたちに全体の曲想とその変化について投げかけをし、感想発表の内容を観察する。また、学習ノートへの書き込み状況からも判断する。鑑賞中の顔の表情、態度、授業後の教師との会話なども加味しながら判断していく。</p> </li> <li>● Aと判断するキーワード           <p><input type="checkbox"/> 曲全体を通しての曲想とその変化への気付き</p> <p><input type="checkbox"/> 旋律の特徴や変化とその効果やよさへの気付き</p> <p>曲全体を通してその曲想や変化をとらえることはできるであろう。そこから更に旋律の変化や特徴についてとらえ、「～だから壮大な感じ」「～だから美しい感じがする」など主題につなげながら発言をしている子どもをAとしたい。</p> </li> <li>● Cと判断される子どもへの支援           <p>学習プリントに何もかけない子どもには、直接会話をし、その受け答えの中から「音楽の言葉」や「音楽のもと」「音楽の仕組み」カードを選択し、本人の気付いていることを明確にしていくようにする。</p> </li> </ul>

5 本時 (1/6 つかむ段階) 公開授業② 6年 組教室にて 指導者

6 本時の目標

- オーケストラの音楽に興味関心をもち、意欲的に楽曲を鑑賞することができる。
- 楽曲の曲想を感じて情景を想像し、オーケストラの響きを味わいながら聴くことができる。

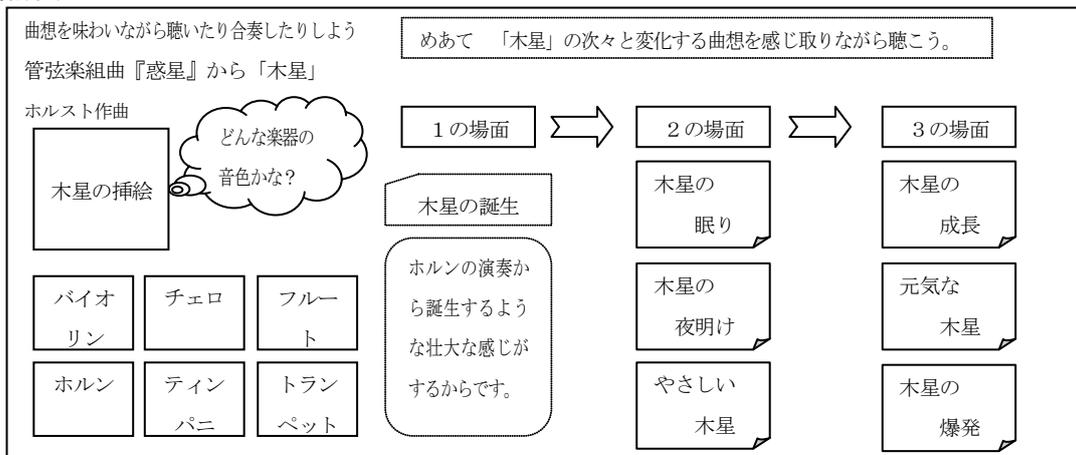
7 本時の授業仮説



8 準備

- 教師…宇宙の情景画、パソコン、プロジェクター、スクリーン、学習プリント、鑑賞CD、鑑賞DVD

9 板書計画



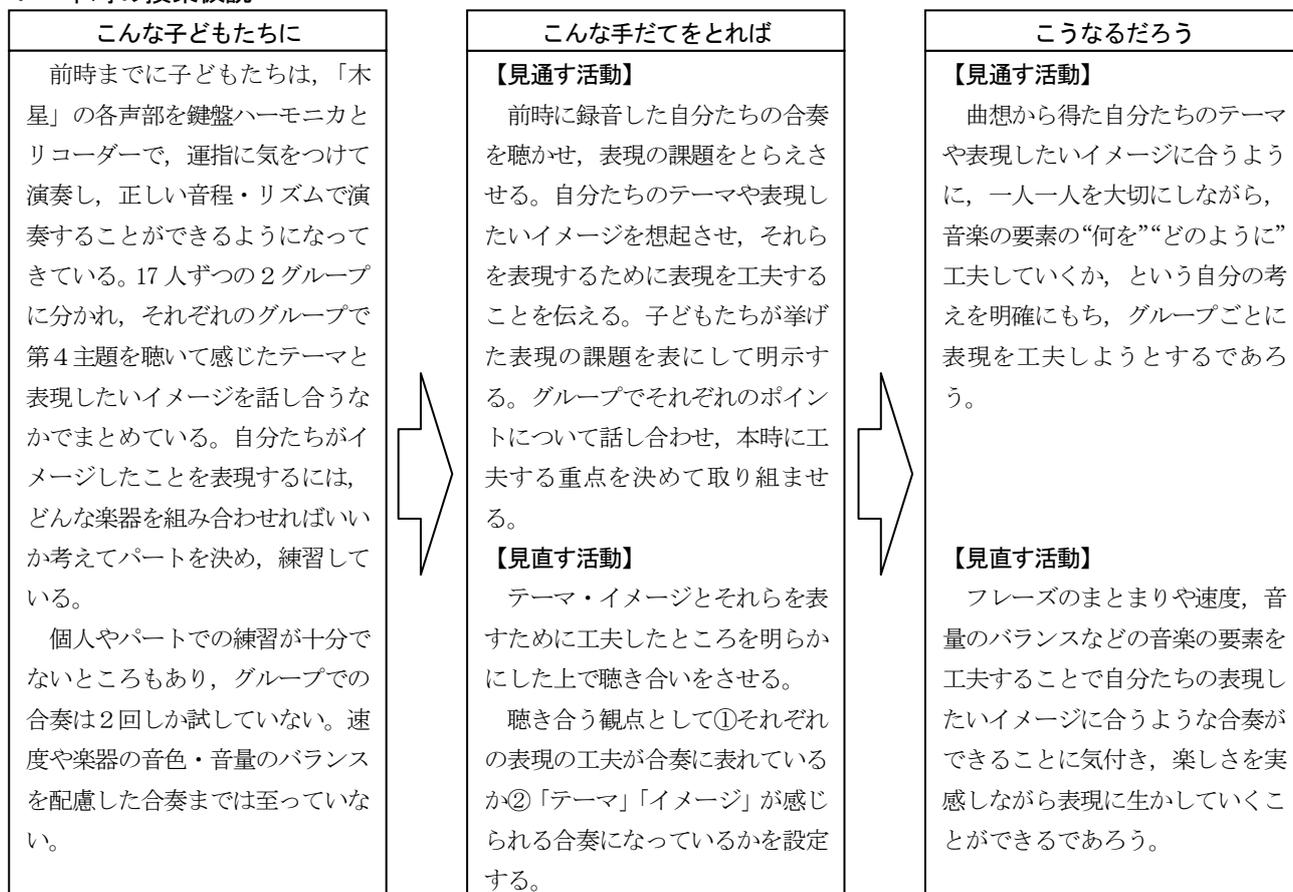
10 本時の展開

学習活動と内容	指導・支援(☆は習得, ★は活用)◆評価規準
<p>1 「惑星」を聴き、本時学習のめあてを知る。</p> <p>(1) 「管弦楽組曲『惑星』から『木星』を聴き、どんな楽器で演奏されているかを発表する。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>・バイオリン ・チェロ ・フルート ・ホルン ・ティンパニ など</p> </div> <p>(2) 本時学習のめあてを知る。</p>	<p>○ 宇宙の情景をイメージさせるために、プロジェクターで宇宙の映像を映し出す。</p> <p>☆ 作曲者等については教師から説明する。</p> <p>★ オーケストラの楽器の音色を意識して聴いてきたこと。</p> <p>◆ 楽器の音色や特徴を聴いて自らの感じ方や思いをもととしている。(ア-①)</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">                 めあて 「木星」の次々と変化する曲想を感じ取りながら聴こう。             </div>	
<p>2 「木星」を聴き、変化する曲想ごとに場面を分け、感じ取った曲想をもとに短い題を付ける。</p> <p>(1) 変化した部分を感じながら「木星」を聴き、場面を分ける。</p> <p>(2) 見通す活動をする。</p>	<p>○ 聴く視点をもたせるために、曲想が変化した部分に手を挙げさせる。</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>【見通す活動】</b></p> <p>「木星」の第1場面を聴き、曲想の感じから短い題を付ける。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">  <p>・ ぼくは、「木星の誕生」と題を付けました。それは、ホルンの演奏から誕生するような壮大な感じがするからです。</p> </div> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center;">曲想とその変化などを感じ取って聴くこと。</p> <p>○ 「木星」を聴き、想像したことや感じ取ったことこの理由を「楽器」や「音楽を特徴付けている要素」から発言できるように、楽器の絵カードやポイントカードを掲示しておく。</p> </div>
<p>(3) 第2, 3場面を聴き、曲の感じから、グループごとに短い題を付ける。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p style="text-align: center;">＜音楽を特徴付けている要素＞</p> <p>・音色 ・リズム ・速度 ・旋律 ・強弱 ・拍の流れやフレーズ など</p> </div> <p>(4) 見直す活動をする。</p>	<p>○ 話し合いがしやすいように4, 5名のグループで活動させる。</p> <p>○ 話し合いが停滞しているグループには机間指導を行い、必要があれば再度聴かせる。</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>【見直す活動】</b></p> <p>グループで話し合った第2, 3場面の題を発表し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">  <p>・ 私たちのグループは、第2場面に「木星の眠り」と題を付けました。それは、曲が急にゆっくりとしていて、バイオリンでゆるやかな感じがしたからです。</p> </div> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>○ 曲想と音楽を特徴付けている要素について振り返ることができるように、表にして板書を工夫する。</p> <p>＜見直す活動の視点＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 曲想と音楽を特徴付けている要素を聞き取っているか。</li> <li>・ 宇宙の壮大な様子を感じ取っているか。</li> </ul> </div>
<p>3 オーケストラの演奏を聴き、本時学習を振り返り、次時への予告をする。</p> <p>(1) オーケストラのDVDを視聴する。</p> <p>(2) 「今日の学習で」を書き、感想を発表し合う。</p>	<p>◆ 曲想の変化を感じ取るとともに、いろいろな楽器がかかり合って生まれる響きの美しさを楽しんでいる。(エ-①)</p> <p>○ オーケストラのDVDを視聴し、自分たちが感じ取った楽器の演奏を確認する。</p>

6 本時の目標

- 快いと感じるフレーズのまとまりや速度、音量のバランスを工夫したり、美しく響き合う音を求めたりして、曲想に合った演奏の仕方を工夫することができる。

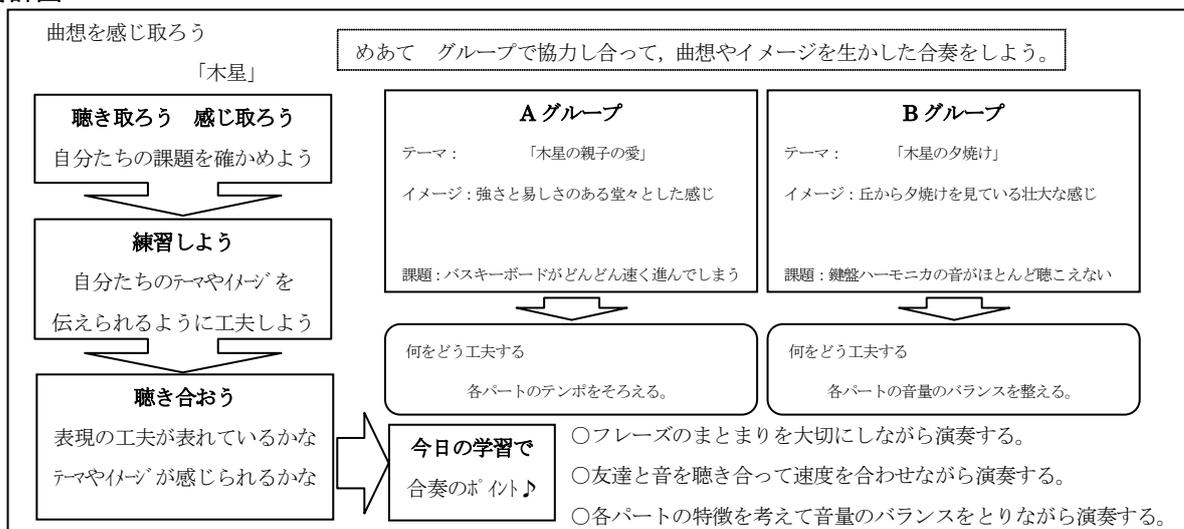
7 本時の授業仮説



8 準備

- 教師…情景画、木星CD、拡大楽譜、楽器（鉄琴・木琴・自動伴奏用オルガン・バスキーボード）
- 子ども…学習プリント、筆記用具

9 板書計画



10 本時の展開

学習活動と内容	指導・支援(☆は習得, ★は活用)◆評価規準
<p>1 めあてをつかむ</p> <p>(1) 管弦楽組曲「惑星」から「木星」の第4主題を聴き、本時のめあてを確かめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>めあて      グループで協力し合って、曲想やイメージを生かした合奏をしよう。</p> </div> <p>(2) 見通す活動をする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p><b>【見通す活動】</b></p> <p>前時の終わりに録音した自分たちのグループの合奏を聴き、自分たちのグループの課題について話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">  <ul style="list-style-type: none"> <li>・ プレスの位置がバラバラでまとまりがないね。</li> <li>・ バスキーボードがどんどん速く進んでしまって他と合っていないね。</li> <li>・ キーボードの音が大きすぎて、主旋律の鍵盤ハーモニカがほとんど聴こえないよ。</li> </ul> </div> </div> <p>2 グループで工夫して演奏する。</p> <p>(1) グループに分かれて、表現の工夫をする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>予想される各グループのテーマと表現したいイメージ</p> <p>Aグループ「木星の親子の愛」…強いだけでなく優しさもある堂々とした感じ</p> <p>Bグループ「木星の夕焼け」……高いところに立って広い草原に沈む夕日と夕焼けを見ている壮大な感じ</p> </div> <p>(2) 見直す活動をする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p><b>【見直す活動】</b></p> <p>グループで工夫した演奏を聴き合い、お互いの表現のよさについて話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">  <ul style="list-style-type: none"> <li>・ フレーズがまとまって優しい美しさが感じられた。</li> <li>・ バスキーボードと他の楽器がきちんとそろって壮大な感じが出ていた。</li> <li>・ キーボードの音と一緒に、主旋律の鍵盤ハーモニカもきれいに聴こえて強く優しい感じが出ていたと思う。</li> </ul> </div> </div> <p>3 演奏のまとめをする。</p> <p>(1) フレーズのまとまりを大切にしながら演奏する。</p> <p>(2) 各パートの特徴を考えて音量のバランスをとりながら演奏する。</p> <p>(3) 友達と音を聴き合い、速度を合わせながら演奏する。</p>	<p>○ 拍の流れや速度に注意できるよう指揮のまねをしながら聴かせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>曲想を生かした表現を工夫し、思いや意図をもって演奏することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 楽曲の気分やイメージを生かすことを伝える。</li> <li>★ イメージ図に書き出していることを表現するために、表現を工夫することを伝える。</li> <li>○ 工夫するポイントが分かるように、子どもたちが挙げた表現の課題を表にして明示する。</li> <li>○ グループでそれぞれのポイントについて話し合い、今日の重点を決めて取り組むことを伝える。</li> </ul> </div> <p>○ 表現の工夫のポイントに沿って話し合い、イメージに合うように特に練り上げたいことを確認してから取り組ませる。</p> <p>★ 個人やパートでの練習で身に付けた演奏に、各グループの工夫のポイントを織り交ぜて演奏する。</p> <p>○ グループ全員で工夫したことを共有できるように、表現の工夫をしたところを拡大譜に記入させる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p><b>予想される表現の工夫のポイント</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ フレーズのまとまり</li> <li>・ 各パートのテンポ</li> <li>・ 各パートの音量のバランス</li> </ul> </div> <p>◆ 快いと感じる拍の流れやフレーズ・強弱や速度を工夫したり美しく響き合う音を求めたりするなど曲想に合った演奏の仕方を工夫している。 (イ-①)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 演奏するグループには、自分たちの曲に対するイメージ・表現を工夫したところを伝えてから演奏させる。</li> <li>★ 観点に沿って聴き合い、表現の高まりを感じ取る。 <b>(聴き合う観点)</b></li> <li>・ それぞれの表現の工夫が合奏に表れているか。</li> <li>・ 各グループのテーマと表現したいイメージが合奏から感じられるか。</li> </ul> </div> <p>○ 自分たちの考えがどのように広がったり、深まったりしたか、見直したことが分かるように、教師が最後に合奏のポイントについて板書で整理してまとめる。</p>